

大会経費の主な削減努力（▲約 1, 0 0 0 億円超）

- 選手村の施設整備を取りやめ、ホテル等を活用 ▲約 6 0 0 億円超
- 使用するホテルの集約（▲ 3 5 施設）等 ▲約 4 0 億円
- 水泳・馬術の競技会場を東京へ移転（仮設費の減） ▲約 2 1 0 億円
- サッカー競技の 2 会場を削減（仮設費・運営費の減） ▲約 4 0 億円
- 競技会場仮設費等の削減 ▲約 9 0 億円
 - ・ 全 5 6 競技会場の設営・運営業務を一体的に委託
 - ・ 競技会場の仮設工事内容（資材・工法等）を見直し
 - ・ 会場諸室等として自治体の防災施設等を借用
- マラソンスイミング競技を取りやめ（仮設費・運営費の減） ▲約 1 0 億円
- 選手等の滞在期間（ピリオド・オブ・ステイ）を短縮 ▲約 3 0 億円